

〈プレスリリース〉

2016年10月

進路情報研究センター調査レポート Vol.12



高校生の進学意識調査結果

留学へ関心高める1年生

悩んだときは、まず母親に相談

進路情報研究センターは、株式会社ライセンスアカデミー（本社：東京都新宿区）のシンクタンクとして、進学・就職等教育に関わる最新情報を発信しています。

この度、2千人以上の高校生を対象に、進学にかかわる意識調査を行いました。「大学を選ぶ際に重視するポイント」「進路選択の情報源」「悩んだときの相談相手」などを明らかにしています。

●調査対象・方法

大学新聞社では、2016年の4月から7月に、「大学入試入学説明会」を全国で開催した。うち35会場において、参加した高校生を対象に意識調査を実施。調査は質問紙形式によるもので、会場で配布・回収を行った。

なお、本調査は2014年から実施し、今回が3回目となる。

●回答者属性

- ・総数は2,342人
- ・学年：1年生81人、2年生606人、3年生1,316人、その他・無回答339人
- ・性別：男子873人、女子1,280人、無回答189人
- ・高校種別：共学校1,787人、女子校272人、男子校36人、無回答247人

「複数回答可」の設問集計について

「複数回答可」で尋ねた設問は、「選択肢」ごとに集計をした。報告書中にある割合（パーセント）は、「選択肢を回答した数」を「該当母集団の数」で除した数値になっている。

例：ある選択肢について、全回答者 2,342 人のうち 1,400 人が選択した場合は「 $1400 \div 2342 \approx 0.597$ 」で 60%。同様に、3 年生 1,316 人のうち 80 人が選択した場合は「 $80 \div 1316 \approx 0.060$ 」で 6%と算出される。

調査結果のポイント

●「大学入試入学説明会」の相談内容は、「学部・学科の特色」と「入試方式」が中心
「留学制度」への関心は順位が低いものの、ここ数年増加傾向にある。とりわけ 1 年生は、2 年前に比べ 10 ポイントも増加した。

●大学を選ぶポイントは、「学びの内容」「就職率の高さ」「学費」
反面、「知名度」「サークル」「歴史・伝統」は、重視していないようだ。

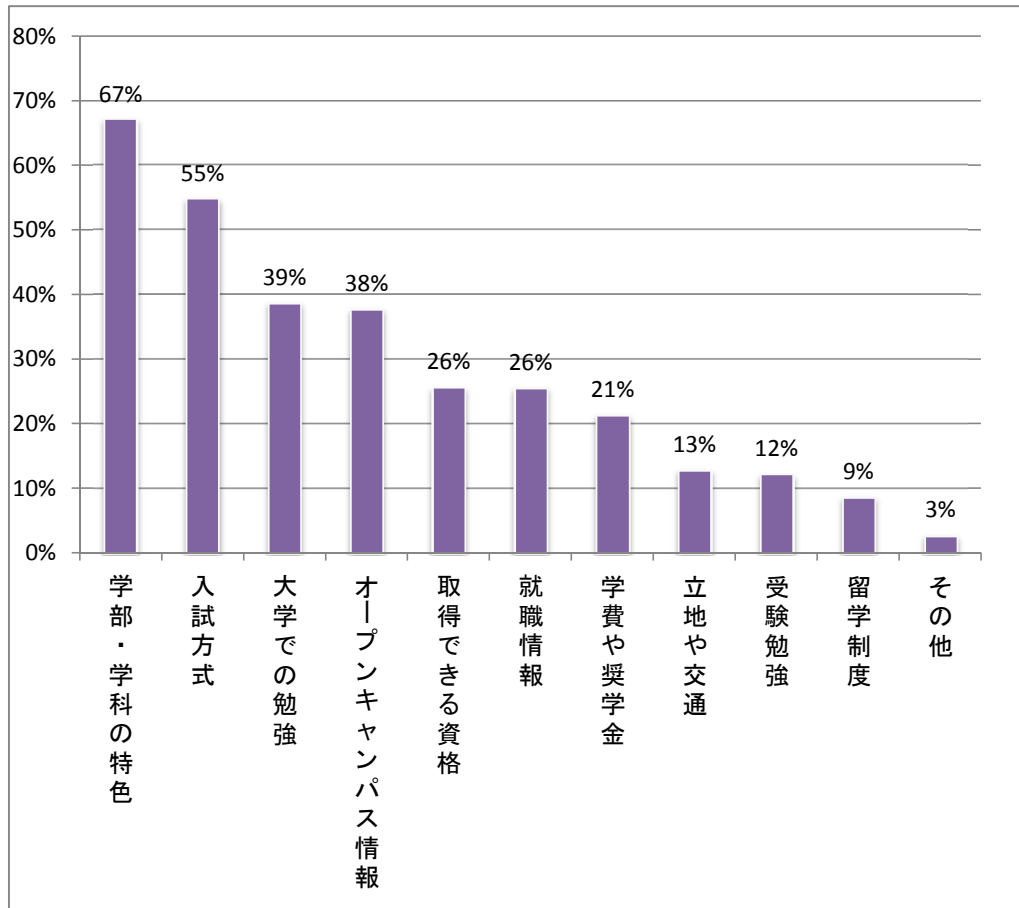
●進路に悩んだときは、まず「母親」、次ぎに「担任の先生」
学年が進むにつれ、「先輩」「友人」の割合が高まる。女子には「母親」「友人」志向が、男子には「父親」「進路の先生」志向が見られる。

●「オープンキャンパス」と「大学のパンフレット」が、大学選びの情報源
全体として女子の方が、男子よりも情報源として挙げる項目数が多い。多方面から情報を収集しようとする意識の表れと言える。

●オープンキャンパスでは、「設備」「模擬授業」「入試情報」をチェック
2 年前と比べ、「模擬授業」重視の傾向が強まる。また、学年別では 1 年生ほど、男女別では女子ほど、重視する項目の種類が多い。

Q 本説明会では、どのようなことを相談したか？（複数回答可）

● 総計



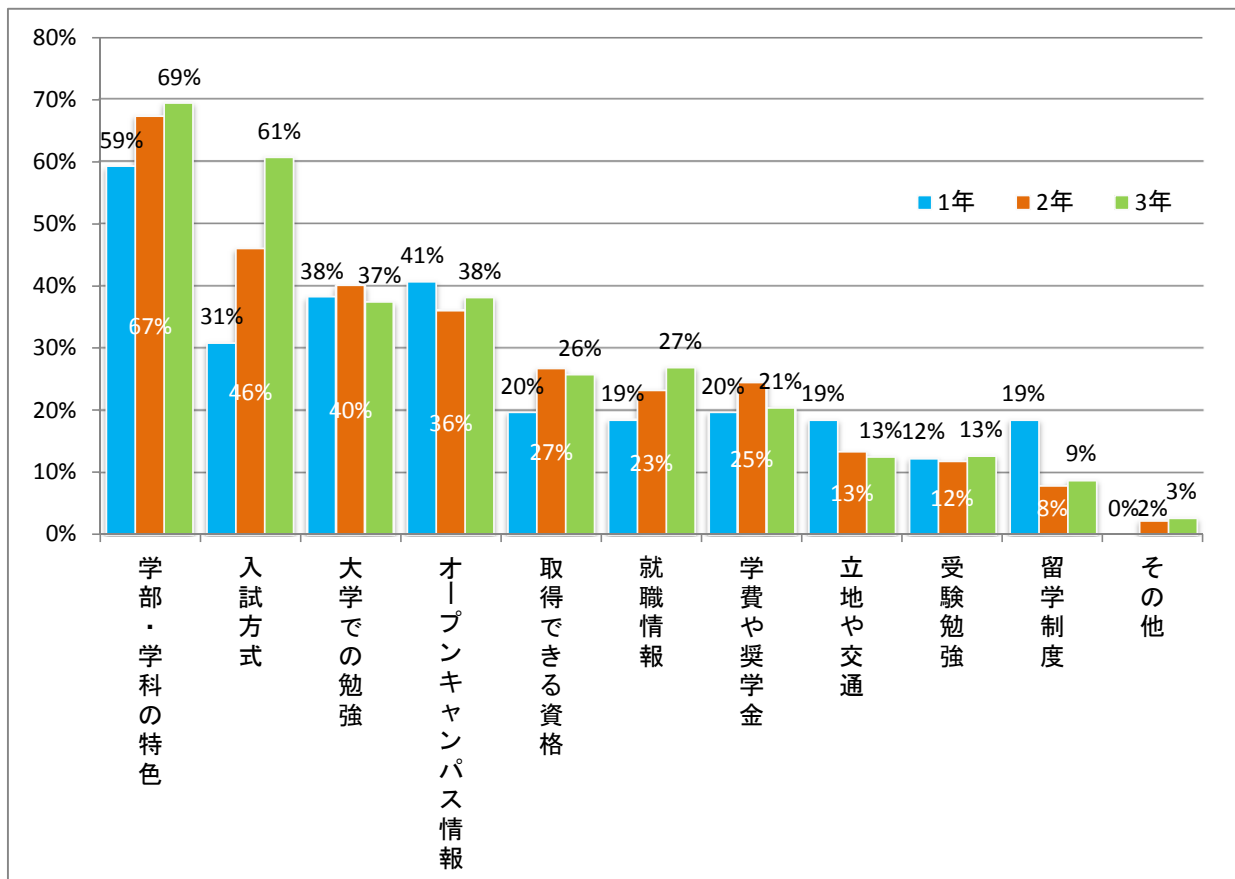
7割近くが「学部・学科の特色」を、半数以上が「入試方式」について尋ねている。そこから約15ポイントの差が開き、「大学での勉強」「オープンキャンパス情報」が続く。前者は高校と大きく異なる「大学ならではの学び方」が質問されていると推測できる。

2年前の本調査の結果と比較したところ、「入試方式」が5ポイント上昇。ほか、「就職情報」が6ポイント、「留学制度」が4ポイントそれぞれ上昇している。就職および留学の関心の高さは、卒業後を見据えた進路選択意識の向上だと考えられる。

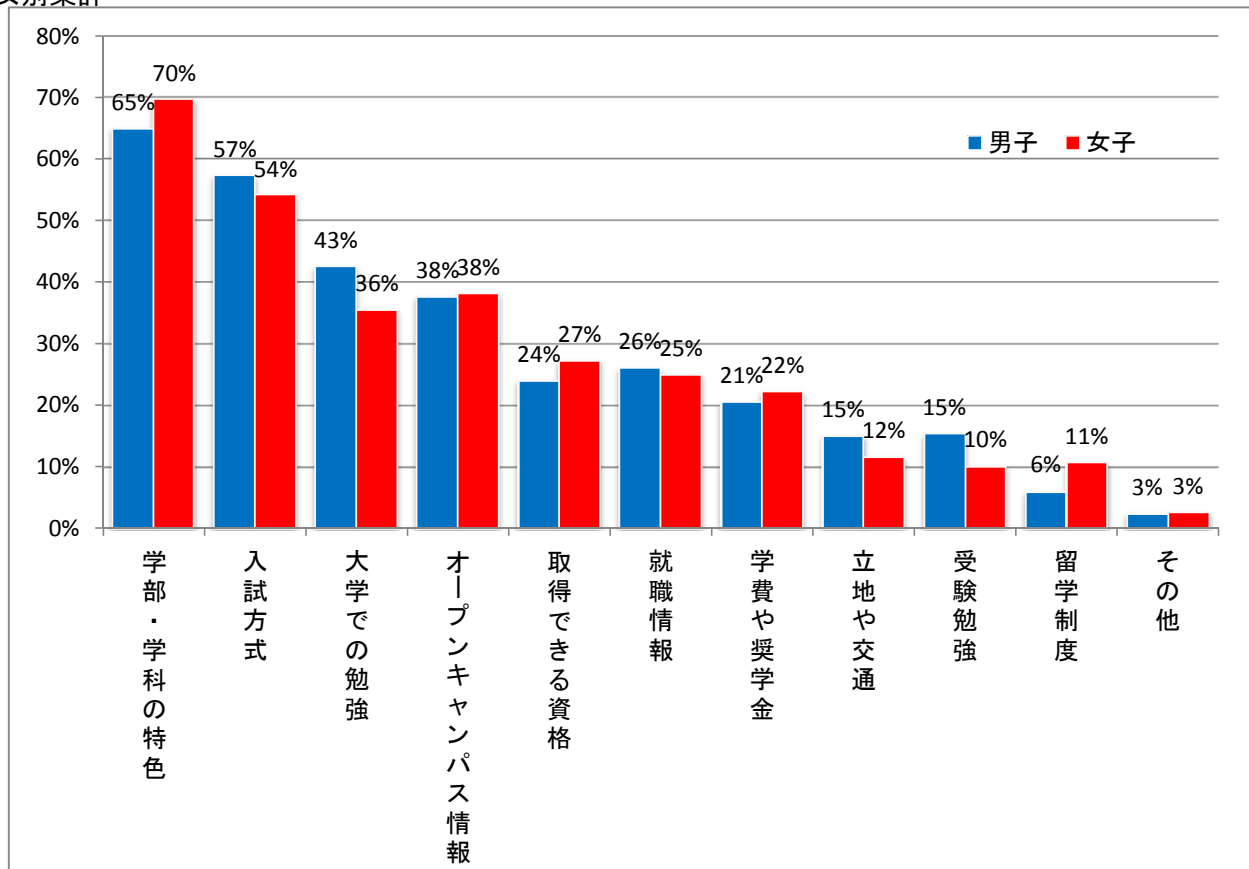
学年別集計からは、「1年」が全体的に他学年よりも低い数値で、「3年」が全体的に数値が高いことが分かる。学年を経るにつれ、尋ねる内容が増えていることが伺える。「1年」の「留学」は、2014年は9%に過ぎなかったが、今回は19%と突出している。この2年間のグローバル化進展の反映と言えよう。

男女別集計は、学年別集計ほどの差が認められない。その中で5ポイント差が付いたのは、女子優勢が「学部・学科の特色」「留学制度」、男子優勢が「大学での勉強」「受験勉強」となっている。

● 学年別集計

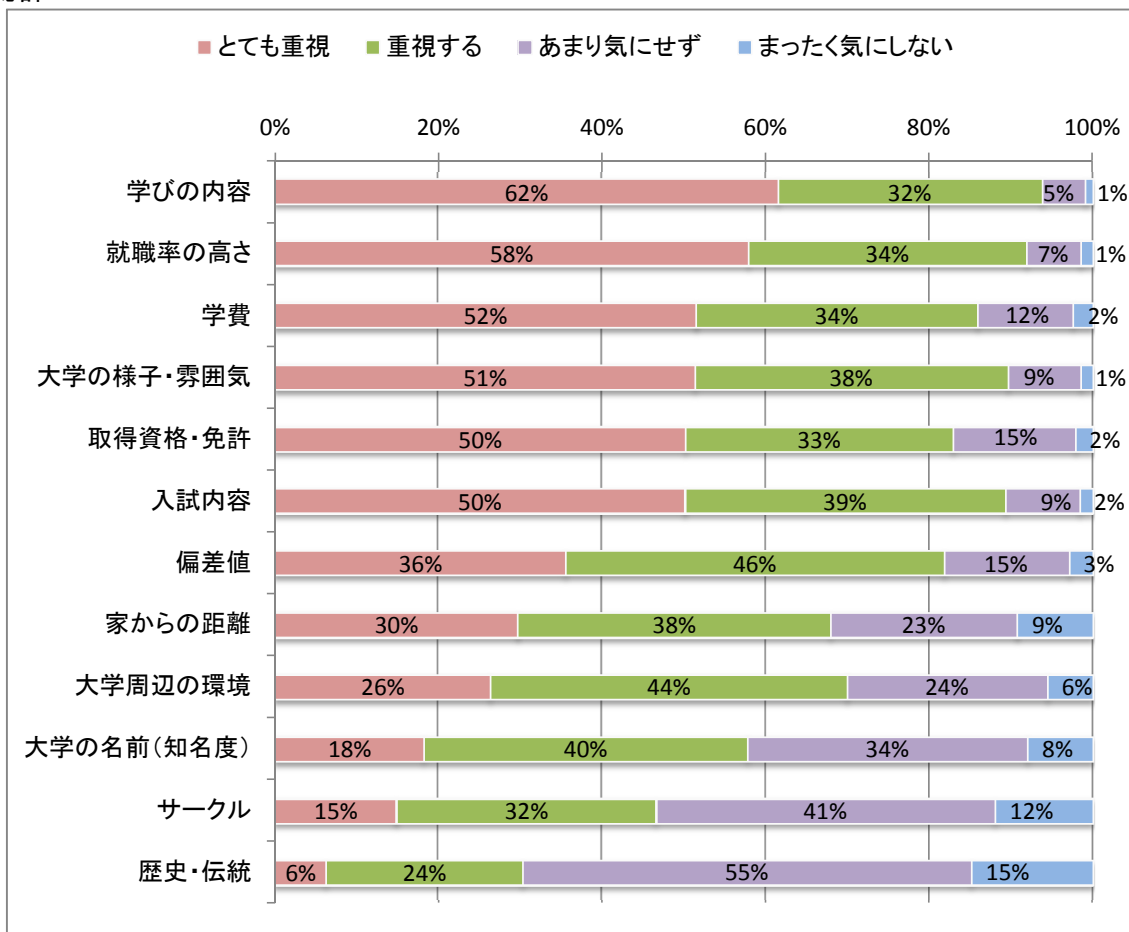


● 男女別集計



Q 大学・短大を選ぶ際、次の項目についてどの程度重視するか？（無回答は集計せず）

● 総計



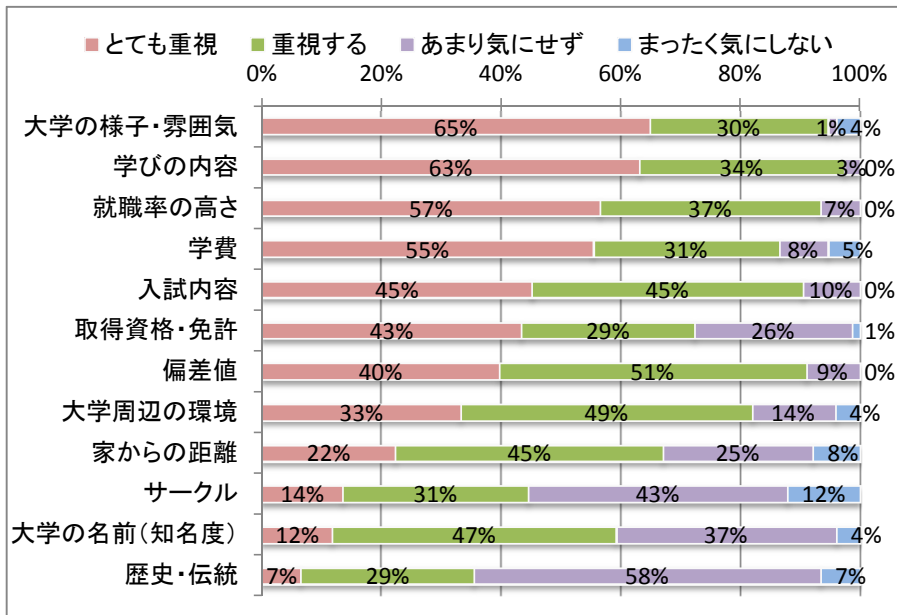
「とても重視」の割合を基準に順位付けを行った。1位が「学びの内容」、2位が「就職率の高さ」、以下「学費」等が続く。

「とても重視=50%」を基準にすれば、「6位以上」と「7位以下」の二つにグループングされる。前者はいずれも大差なく、全体的に重視している様子が伺える。一方、後者は「あまり気にせず」「まったく気にしない」の割合が順位が下がるにつれ大きくなる。なお、2年前の結果と大きな変化はない。

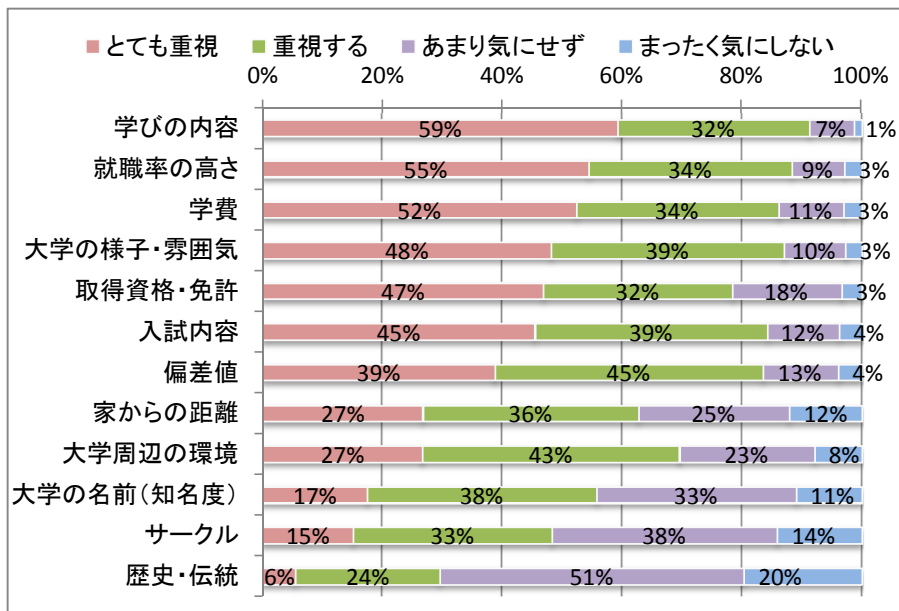
学年別集計において、「大学の様子・雰囲気」は学年が上がるにつれ、その順位が低くなる。逆に「取得資格・免許」は学年が上がるに従い、順位が高くなる。一方で、「学びの内容」「就職率の高さ」は学年を問わず重視されていることが分かる。

男女別集計においては、全体的に「女子」の方が「とても重視」と答える傾向にある。様々な情報を得てすることで、進路を考えようとしている様子が伺える。「大学の様子・雰囲気」「取得資格・免許」は、男子に比べ女子の重視割合が非常に高い。

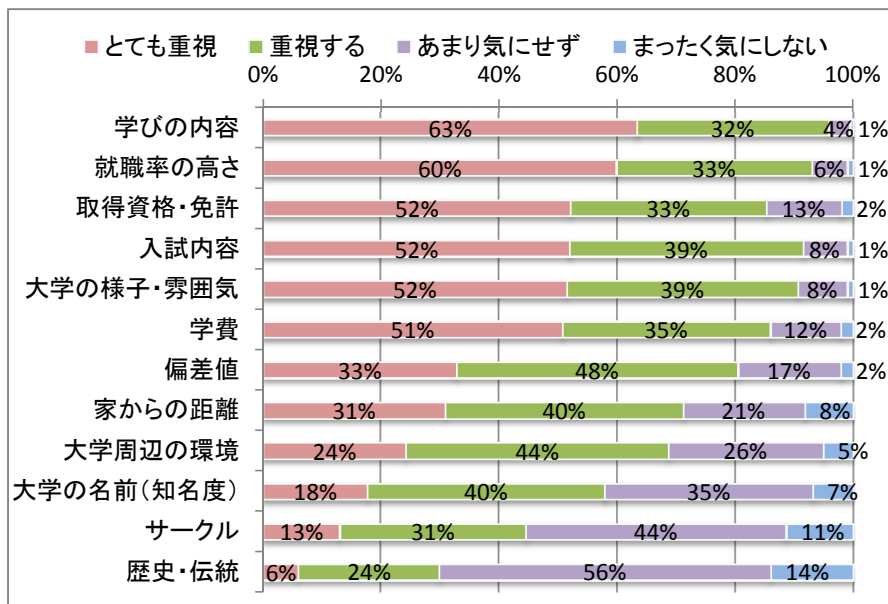
● 学年別集計
○ 1年生



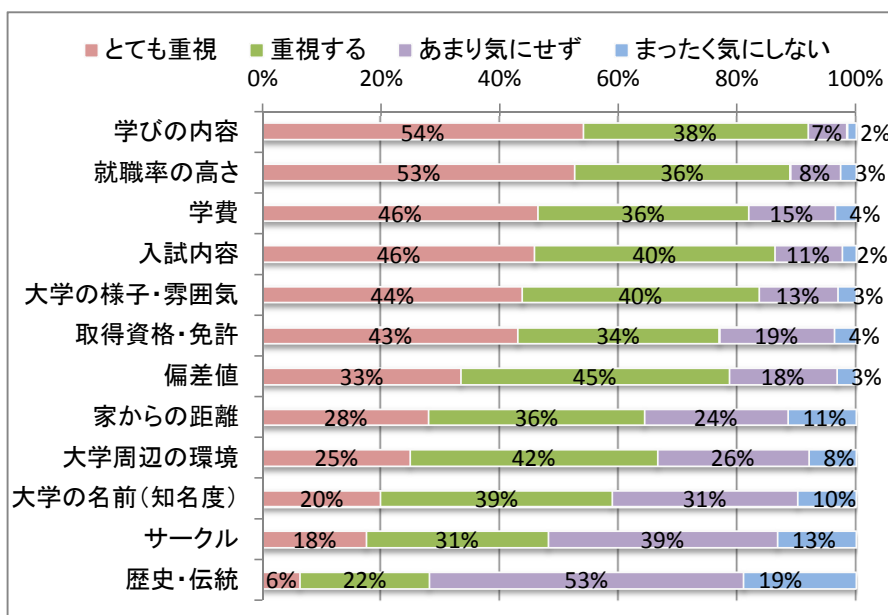
○ 2年生



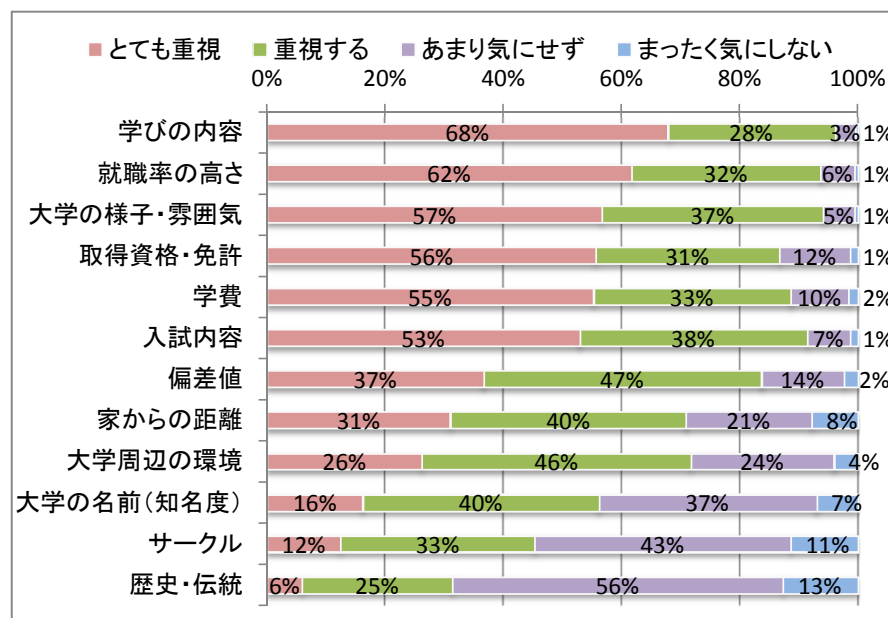
○ 3年生



●男女別集計
○男子

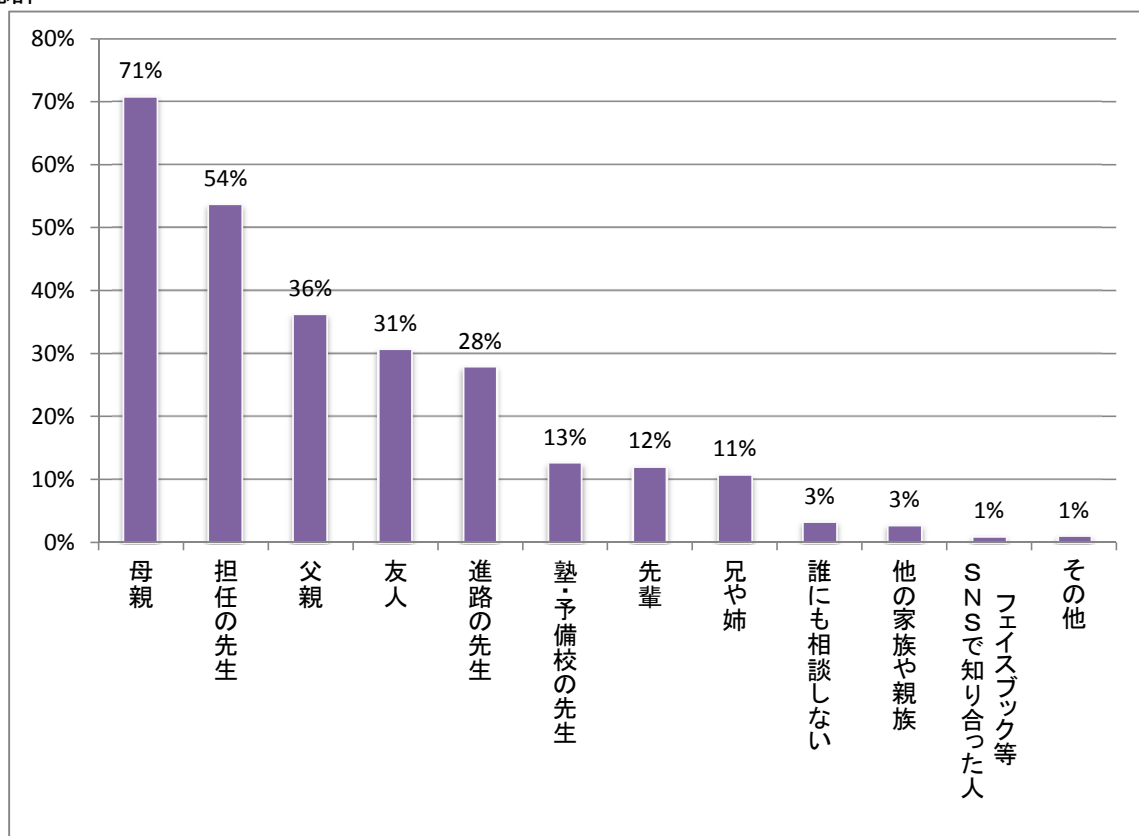


○女子



Q 進路に悩んだ時は誰に相談するか／相談したか？（複数回答可）

● 総計

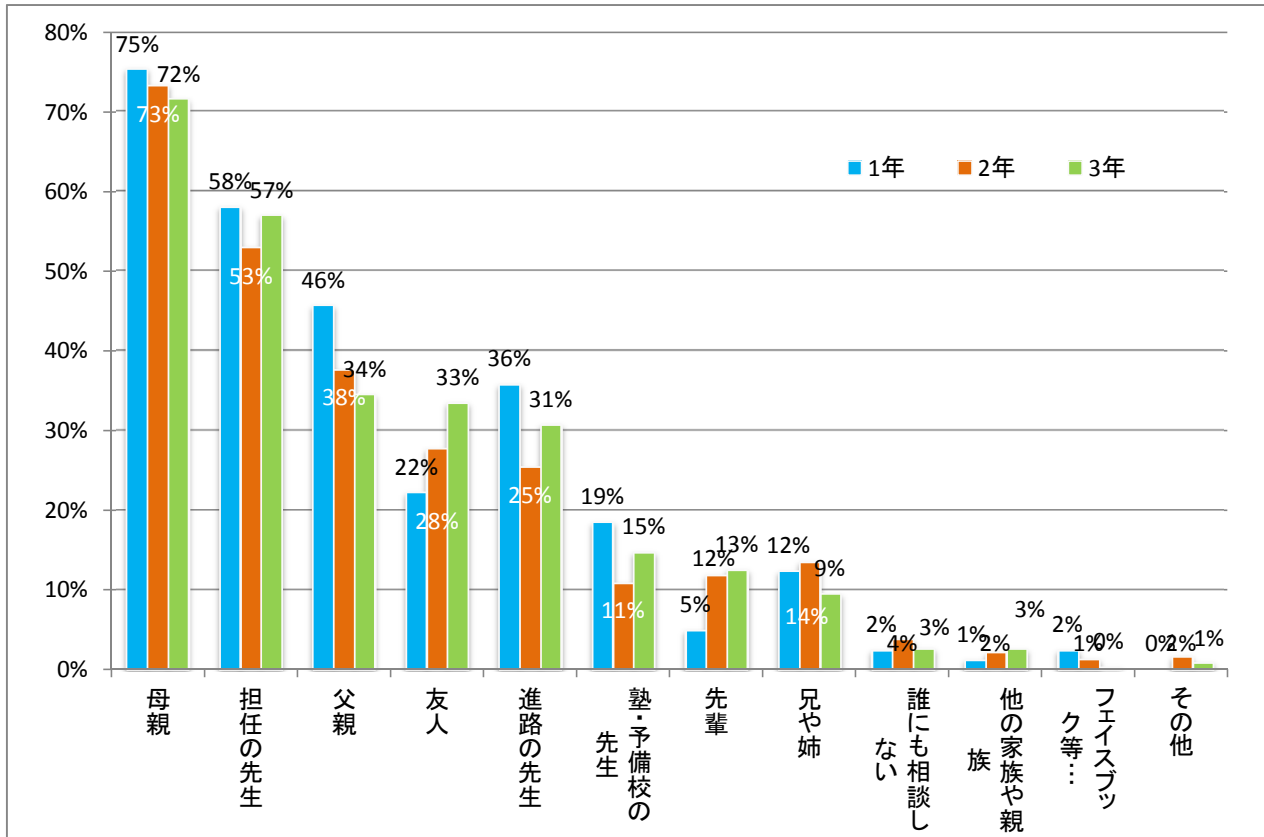


71%が「母親」を、54%が「担任の先生」を挙げた。次に約20ポイントの差を付けて、30%台で「父親」「友人」「進路の先生」が続く。2年前と比べると、大半の選択肢は数値が上昇し、「母親」7ポイント、「担任の先生」5ポイント、「父親」7ポイント、「塾・予備校の先生」5ポイントそれぞれ上昇している。全体として、相談する相手が増えたと推察できる。ただし、「友人」だけは31ポイントのままで変化が見られず、順位が3位から4位に下がっている。また、情報機器の普及は著しいが、「フェイスブック等SNSで知り合った人」に尋ねるケースは非常に少なく、2年前よりも4ポイント低下した。

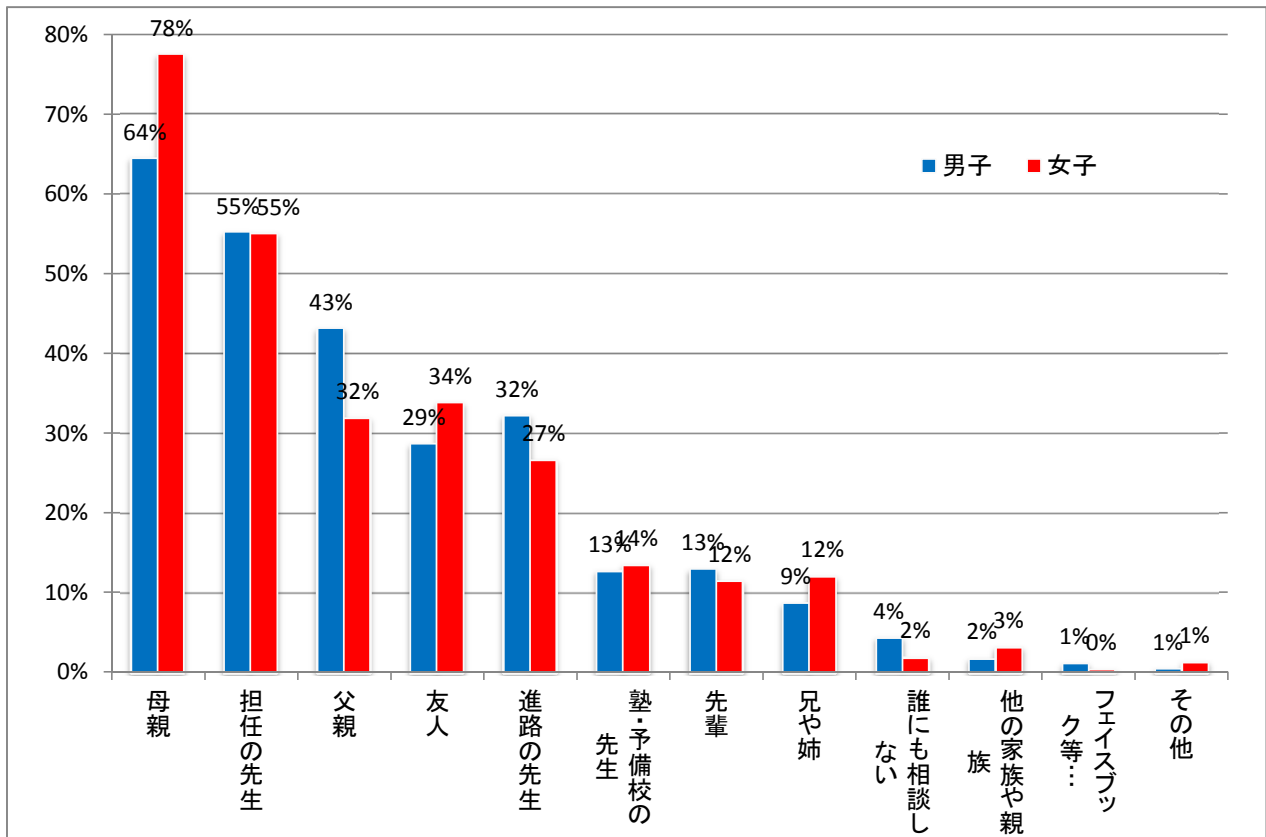
大半の選択肢において、学年を経るにつれ数値が低くなる。つまり、相談相手は少なくなると考えられる。その中で、「友人」「先輩」は学年が高くなるほど、選ばれる傾向にあるようだ。

男女別では、女子の「母親」「友人」志向、男子の「父親」「進路の先生」志向が見られるものの、その他の選択肢においては顕著な差は見られない。

●学年別集計

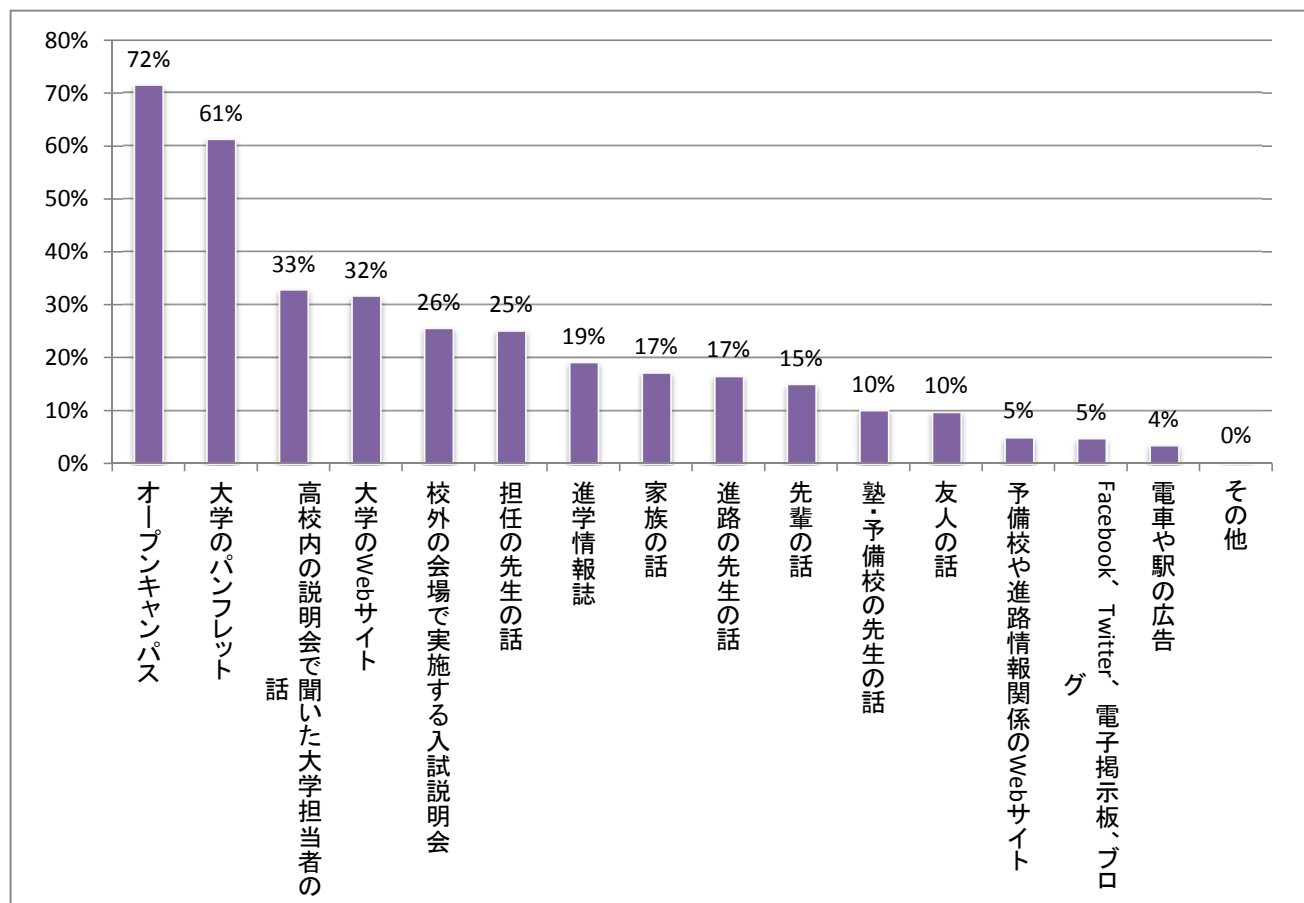


●男女別集計



Q 大学・短大はどのような情報源から選ぶか？（複数回答可）

● 総計

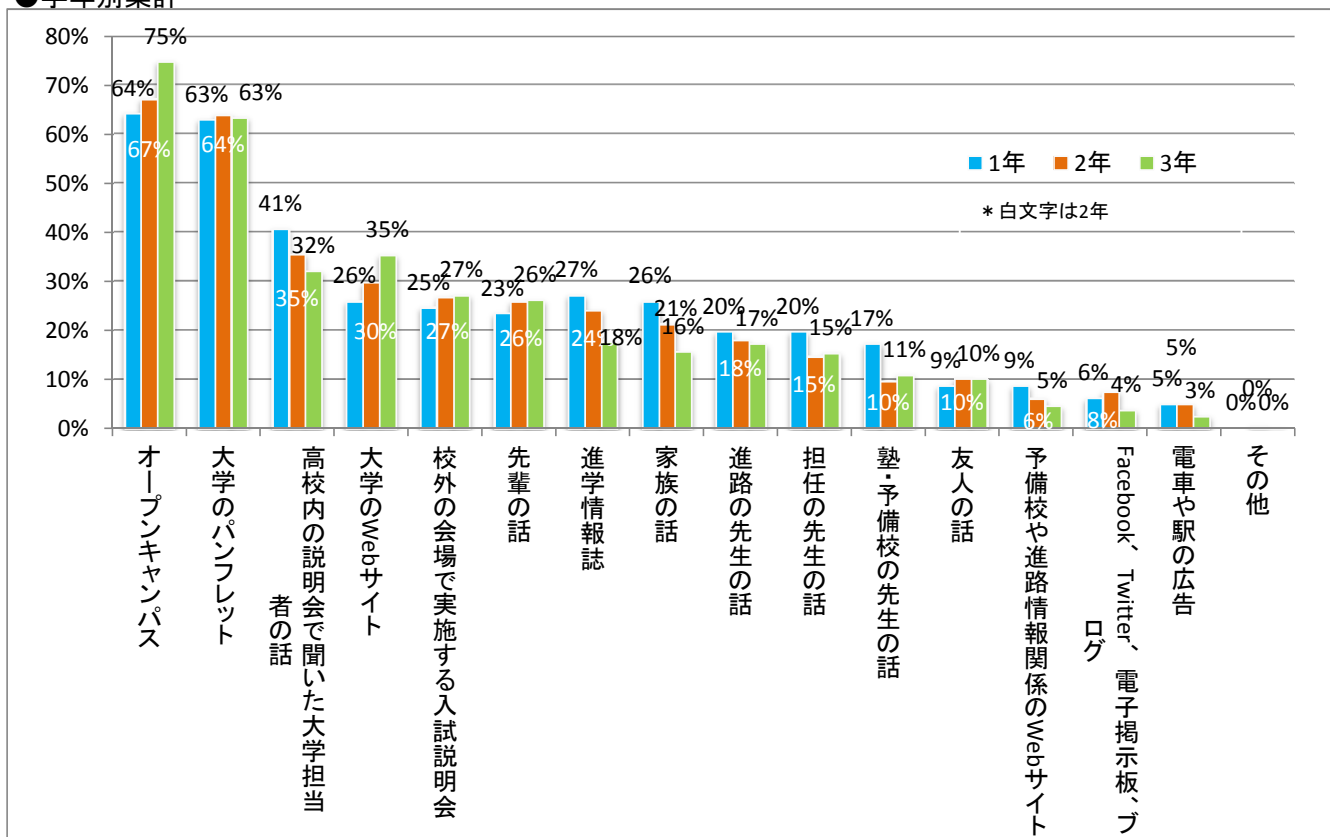


「オープンキャンパス」および「大学のパンフレット」が、他を大きく引き離している。3、5位には、「ガイダンス」と総称される「高校で聞いた大学担当者からの説明」および「校外の会場で実施する入試説明会」が位置する。担当者からの「生の声」は受験生に説得力を持って届いていると考えられる。また、「大学のWebサイト」は、2年前結果よりも15ポイントもアップした。紙のパンフレットを廃止し、Webに全面移行する大学が増える中で、今後の推移が注目される。さらに、「担任の先生の話」「受験情報誌」「先輩の話」が、それぞれ7ポイントアップした。

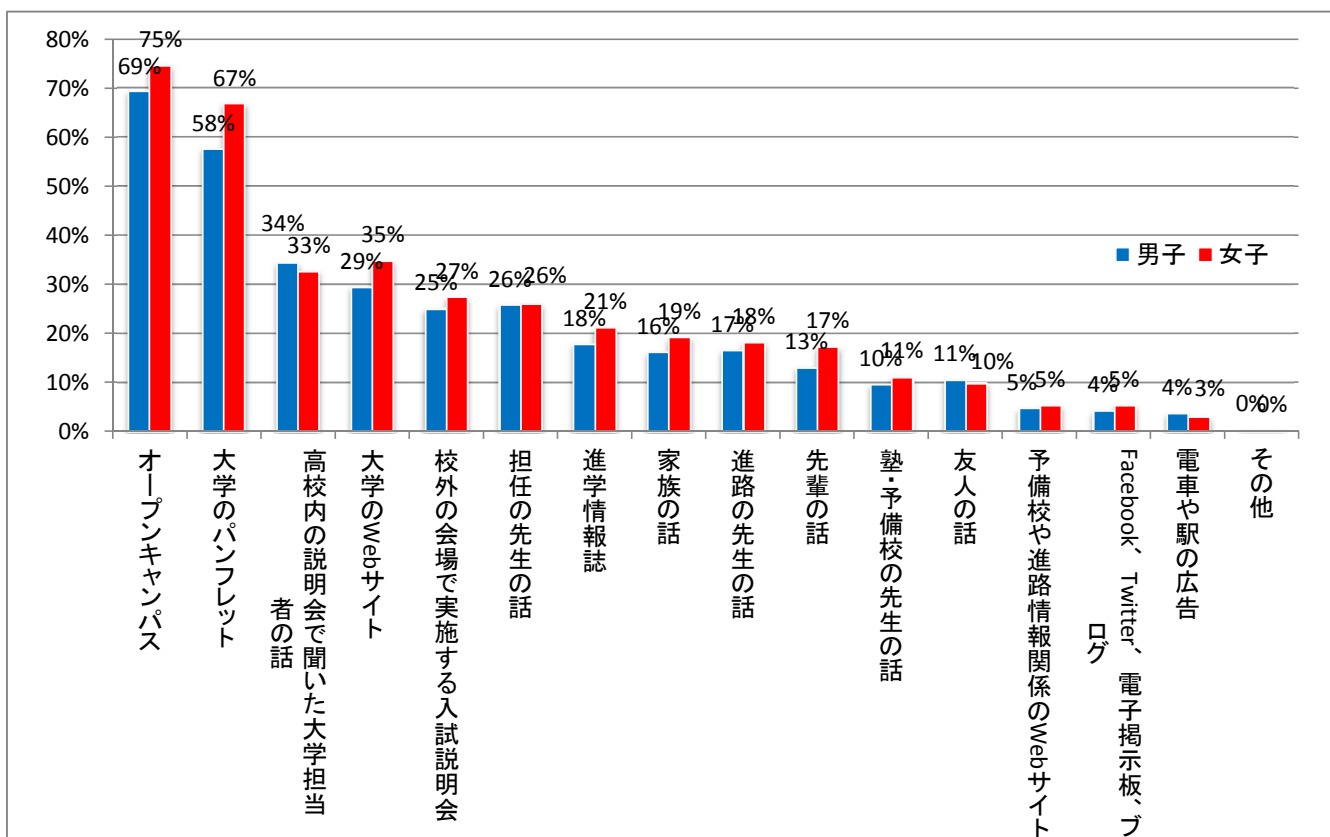
「1年」は他の学年と比べ、数値が高い項目が多い。つまり、1年生は選ぶ情報源が多様だと言える。また、「オープンキャンパス」「大学のWebサイト」は、3年生ほど選ばれる傾向にある。

男女別では、全体として女子の方が情報収集に熱心であることが伺える。わずかではあるが、男子が上回っているのは、「高校内の説明会で聞いた大学担当者の話」「友人の話」のみである。

● 学年別集計

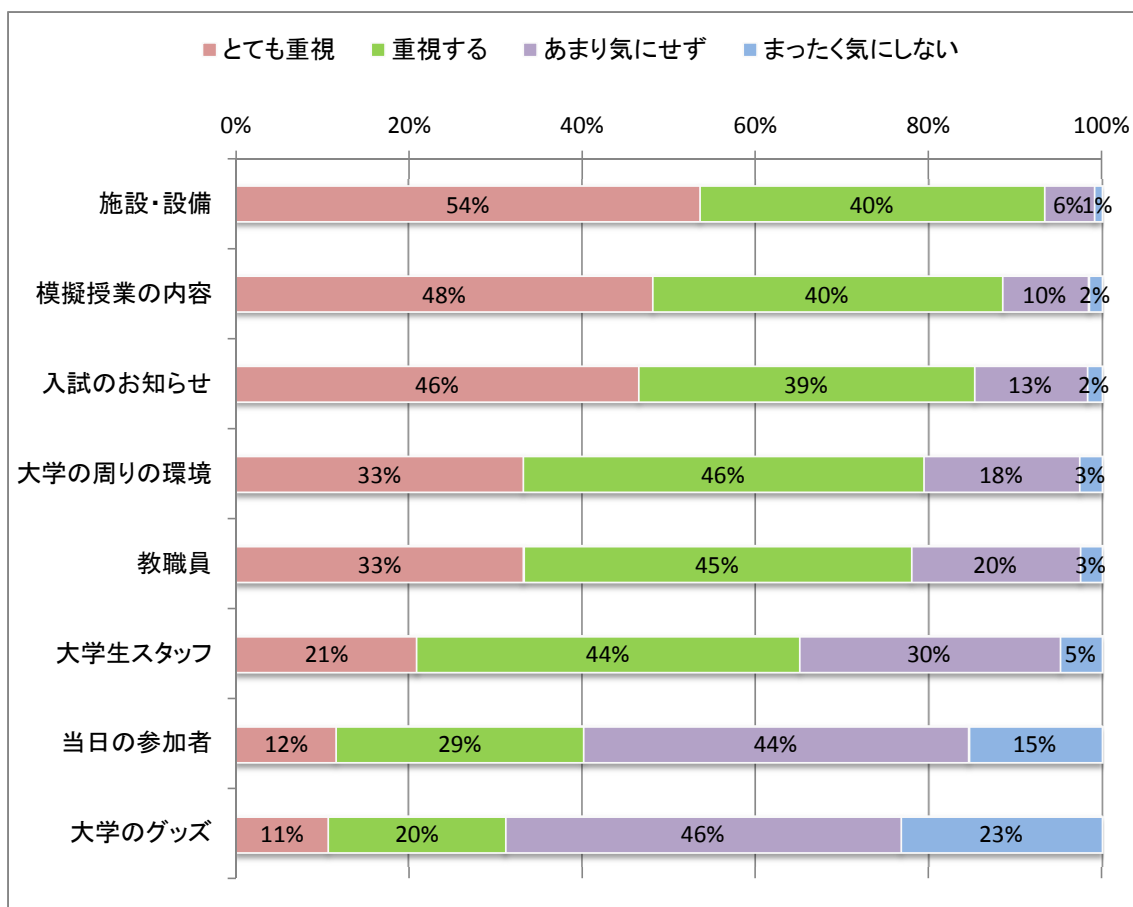


● 男女別集計



Q オープンキャンパスに行った際、次の項目についてどの程度重視するか？
 (無回答は集計せず)

● 総計

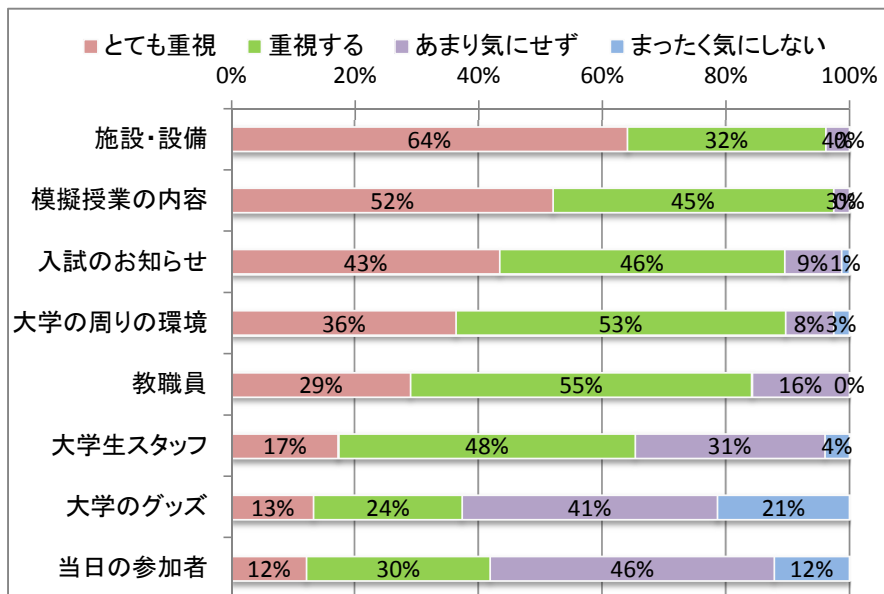


「施設・設備」「模擬授業の内容」「入試のお知らせ」が、重視ポイントの「ベスト3」である。「施設・設備」は、パンフレットやWebサイトでは理解しづらいため、現地での見学希望が強いものと考えられる。また、「模擬授業の内容」の「とても重視」は、2年前よりも9ポイントも上昇。学校選びのカギになったことが分かる。

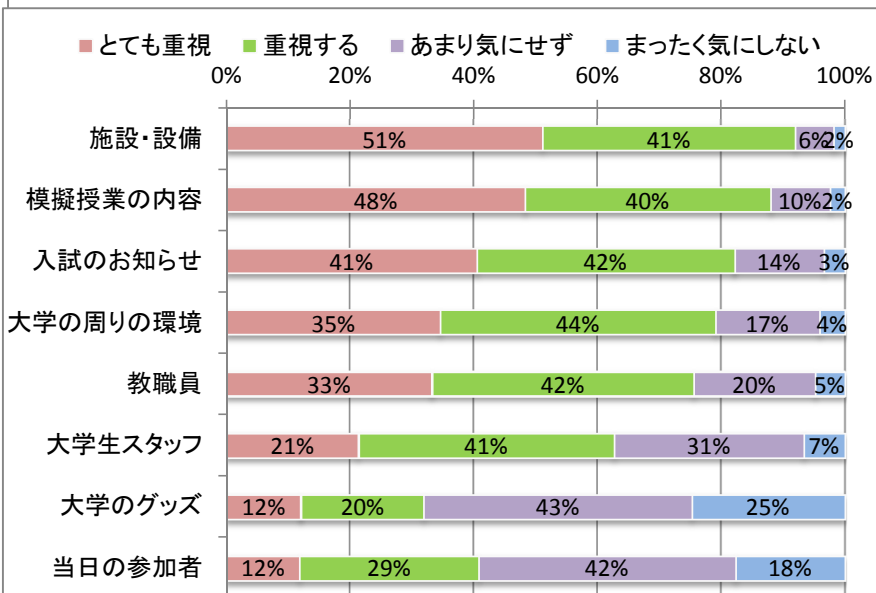
前掲の設問だけでなく本設問においても、「1年生」ほど「とても重視」の項目が多い。学年が上がるにつれ、「入試のお知らせ」が重視される。

男女別では、女子の方が「とても重視」と答える項目が多い。「大学の周りの環境」と「教職員」において、男女間で順位が異なる。

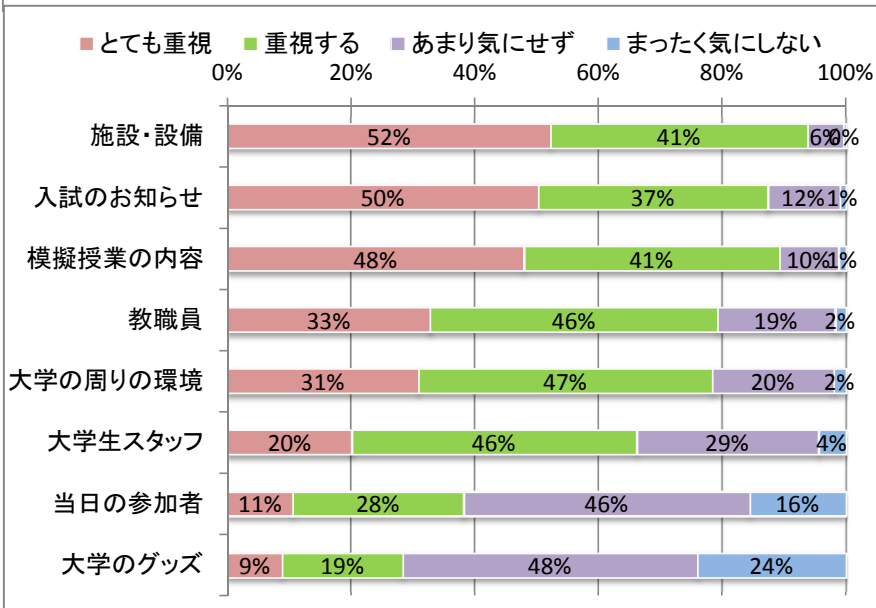
● 学年別
○ 1年生



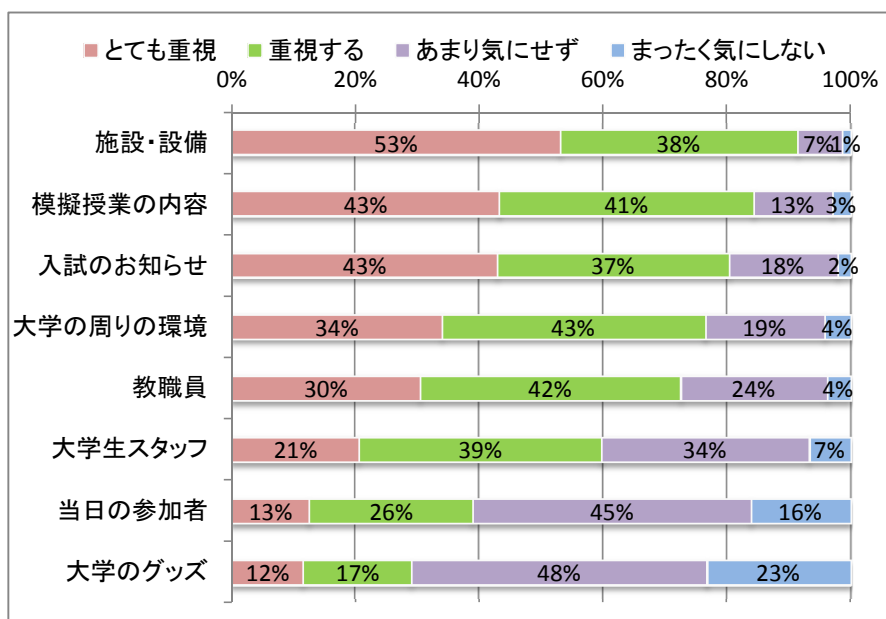
○ 2年生



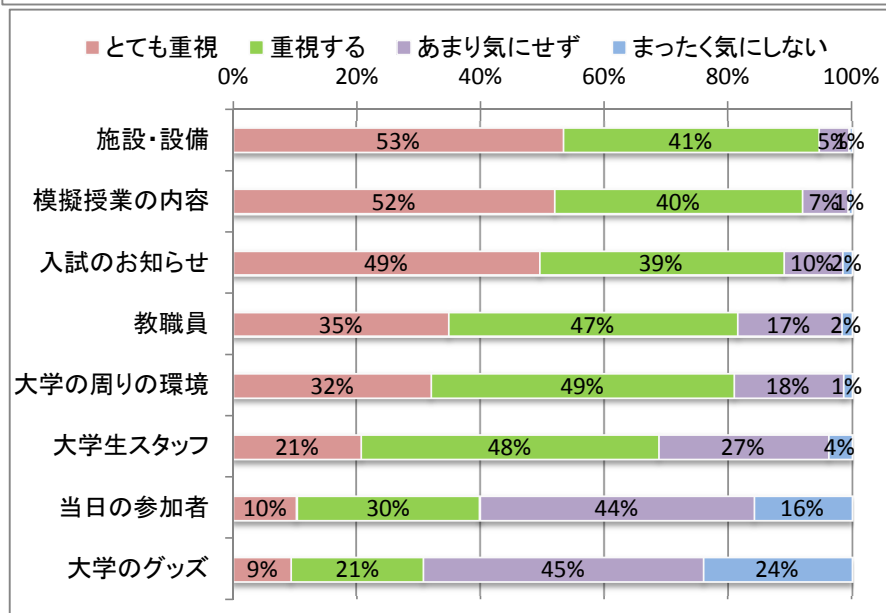
○ 3年生



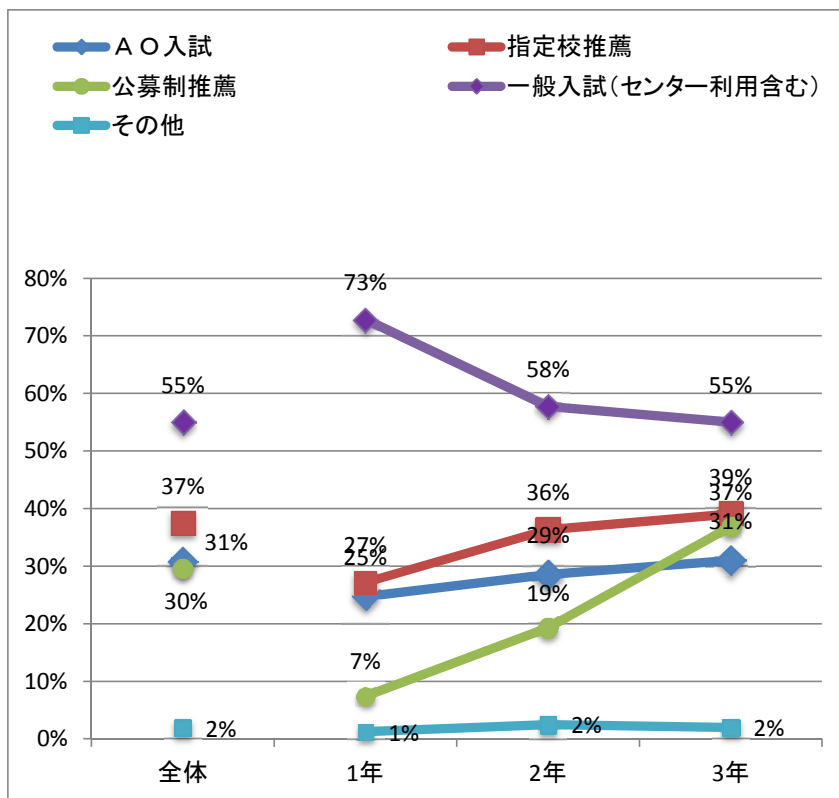
●男女別
○男子



○女子



Q 希望する入試方式は？（複数回答可）



「一般入試（センター利用含む）」の希望割合が高い。学年が進むと、「一般入試」の割合が低下し、「推薦」、とりわけ「公募制推薦」の割合が上昇している。1年前の本調査では、「一般入試」52%、「指定校推薦」41%、「AO入試」36%、「公募制推薦」31%、「その他」2%。「一般入試」の希望が増えた。